



広報はお茶の間と市政を結びます

# ふるま

## 人口の動き

(前月比)

男 18,500(減) 48

女 19,166(減) 23

計 37,666(減) 71

世帯12,527(減) 45

(7月末現在)

「いろいろな木彫りがあるが、なぜ、鮭や鱈を彫るかという、やはり私が生粋の浜っ子ということもありますが、特に、鮭は北海の荒波を巡り、迷うことなく故郷へ戻り、最後の力を振りしぼって卵を生み自らの生命を断つ、自然のドラマに魅せられたということでしょうね」

木調民芸家である大野静峰さん(本名大野武、市内大町3)は、鮭や鱈の木彫りを始めて13年目になるという。

「木彫りなどの民芸を通して留萌のイメージアップと市民への郷土愛の一助になればと思うんです」

黄金岬の夕日を背に受けた作業場で今日も大野さんは鮭を象徴する口、背びれ、胸びれ、尾、うろこに力いっぱいノミを入れています。

'76 9月

第222号